

東京農工大学

学生団体「耕地の会」～農家の方と交流しながら農業の知識も身につく～

● 設立のきっかけ

- ・農学系の大学でありながら、生産現場での農家実習が少ないことから、農作業ができるサークルを設立。
- ・現在メンバーは約100名在籍しており、その大部分を1,2年生が占めている。

● 取組活動

- ・毎週土曜日の午前中に借りている畠で農作業。キャンパス周辺の府中の畠で野菜、小平の畠ではサツマイモを栽培。
- ・それぞれ収穫した野菜などは持ち帰るほか、学園祭で加工品などにして販売。
- ・今年の学園祭でサツマイモ加工品を、設立当初から続いた「きんつば」から「ドーナツ」にリニューアルし販売。
- ・長期休暇には、宮城県や新潟県など4箇所で、少人数単位で農家合宿。今年は、インスタを介して新たに2箇所（神奈川県三浦市、山梨県南部町）合宿先が追加。

普段は、程よい規模の畠で農作業



学園祭用のさつまいもを毎年約600株植えています



● 特徴

- ・農家の方と交流を深めながら農業の知識も身につく、野菜等を育てる農業サークル。
- ・気軽に参加でき、サークルでの体験を通じて、農業を身近に感じられる。
- ・サークル活動を通じて、工学部の学生はもちろん、地域の人たちとも仲良く深く繋がれる。
- ・同世代との農家合宿は、気軽に参加できることもあり、楽しいイベント。普段できない農作業ができる。

● 活動の成果

- ・無理なく参加できる内容、頻度で活動を行うことで農業を身近に感じることができる。
- ・合宿で農家の方々が行っている作業を実際に体験することで、話を聞くだけでは分からない農家のことを知ることができる。

● 詳しい情報はこちら（サークル Instagram）

普段の活動や合宿、学祭の様子を発信中！
温かく見守っていただければ幸いです。



新たに2025年の学園祭で販売
したさつまいもドーナツ



合宿での稻架掛けを体験



★ 概要 ★

サークル設立：1989年設立
メンバー：約100名

活動分野：野菜栽培、援農など
問合せ先：nokodaikouti@gmail.com